

南三陸病院職員募集

南三陸病院勤務の職員採用試験を次のとおり実施します。

(令和8年4月1日採用予定。場合によっては、予定日より早く採用する場合があります。)

●募集する職種(人数)

薬剤師(1名) 言語聴覚士(1名)
臨床検査技師(1名) 看護師(若干名)
助産師(若干名) 看護助手(若干名)

●受験資格

会計年度任用職員も随時募集しています!

・薬剤師

昭和55年4月2日以降に生まれ、募集する職種の免許を有する人または令和8年3月31日までに免許の取得が見込まれる人

・臨床検査技師

平成元年4月2日以降に生まれ、募集する職種の免許を有する人または令和8年3月31日までに免許の取得が見込まれる人

・言語聴覚士

昭和62年4月2日以降に生まれ、募集する職種の免許を有する人で、実務経験が3年以上ある人

・看護師、助産師

平成3年4月2日以降に生まれ、募集する職種の免許を有する人または令和8年3月31日までに免許の取得が見込まれる人

・看護助手

平成3年4月2日以降に生まれ、介護福祉士などの介護関係資格を有する人または令和8年3月31日までに免許の取得が見込まれる人

※その他、日本国籍を有する人などの事項が受験資格として必要となりますので、詳しくは病院事務部で配布する採用試験案内または病院ホームページを確認ください。

●試験日および会場

日時 令和8年1月30日(金) 午後1時30分～
会場 南三陸病院 会議室

●試験の内容

作文および面接

●申込書類

- ・受験申込書(最近3カ月以内に撮影した写真を貼付)
 - ・市販の履歴書
 - ・各職種の免許証の写し(在学中の場合は、卒業見込証明書と成績証明書)
 - ・職務に関する経歴書(任意様式)
 - ・受験票を送付する封筒(110円切手を貼り、宛名を明記)
- ※受験申込書については、病院事務部で配布しているほか、病院ホームページからダウンロード可能です。

●受付期間

12月1日(金)～令和8年1月13日(火)
※受け付けは、平日の午前8時30分から午後5時まで。
(郵送の場合は、令和8年1月13日(火)必着)

☎ 南三陸病院事務部 総務会計係 ☎46-3664 〒986-0725 南三陸町志津川字沼田14番地3

町職員採用試験のお知らせ

町では、令和8年4月1日採用予定の職員を募集します。

●職種・採用予定人数

土木(民間企業等職務経験者) 若干名
単純労務職(校務) 1名

●受験資格

土木 (民間企業等職務経験者)	昭和60年4月2日以降に生まれた人で、次のいずれかの要件を満たす人 ①土木施工管理技士(1級または2級)または技術士(または技術士補)の資格を有する人 ②土木工事の設計または施工管理に係る職務経験を通算3年以上有する人
単純労務職(校務)	平成2年4月2日以降に生まれた人で、普通自動車運転免許(AT車限定は不可)を有する人または令和8年3月31日までに取得する見込みの人

※これらの他にも要件があります。詳しくは、受験案内をご確認ください。

●試験日および会場

日時 1月18日(日)
会場 南三陸町役場

●試験の内容

作文および面接

●受付期間

12月1日(月)～令和8年1月9日(金)

●申込方法

インターネットの専用サイトからお申し込みください。
<https://public-connect.jp/employer/22496>
(QRコードでもアクセス可)



※南三陸町公式ホームページの「職員採用試験情報」のページにも掲載しています。
<https://www.town.minamisanriku.miyagi.jp/>

☎ 総務課 人事係 ☎46-1370 〒986-0725 南三陸町志津川字沼田101番地

企業版ふるさと納税で町を活性化

10月28日(火)、株式会社トスネット様から企業版ふるさと納税のご寄附(100万円)をいただきました。寄附金は、地域の魅力を高める事業や人材育成などに活用されます。

町では、こうした支援を力に、地域の持続的な発展に向けた取り組みをさらに進めていきます。



明治安田生命保険相互会社が本町へ震災復興寄附



10月17日(金)、明治安田生命保険相互会社様から震災復興寄附金(789,300円)をいただきました。明治安田生命保険相互会社と本町は、令和3年2月に健康増進に関する連携協定を締結しており、健康寿命の延伸や安全・安心なまちづくりのための活動を連携して展開しています。温かいご支援に心より感謝申し上げます。

私たちが火災予防を呼び掛けました

今年も昨年に引き続き、少年消防クラブ員による火災予防広報を実施しました。

今回の放送は、名足小学校の三浦唯斗さん。11月9日(日)～15日(土)の午前10時と午後3時の防災無線広報として放送しました。

三浦さんは、「最初は緊張したけど、段々慣れてきて、町内で火事を予防できたらいいと思います。」と感想を話してくれました。

地元小学生の声で火災予防の呼びかけを行うことにより、家庭や地域における火災の発生を防止し、防火意識の高揚にもつながると期待されます。



名足小学校少年消防クラブ

三浦 唯斗 さん